

8. 木の器

息子夫婦の家に引っ越してきたおじいさん。おじいさんは力が弱くて目が悪いので、よく料理をこぼしてしまいます。息子夫婦は、そんなおじいさんの失敗が許せません。彼らはおじいさんにひどいことをしますが、それを見ていた孫は・・・。

愛する妻を亡くしたおじいさんがいました。おばあさんが亡くなって、おじいさんは息子のジェームスとその妻のイザベラの家に移すことになりました。息子夫婦の家には、もうすぐ小学生になる孫のトニーも住んでいました。

息子夫婦は、おじいさんのことをあまり良く思っていないでした。なぜなら、おじいさんは力が弱くて目が悪いので、食事の時によく料理をこぼしてしまうからです。おじいさんが料理をこぼすと、彼らは



いつも大きなため息をつきました。おじいさんはそれを聞くたびに、
かなしい気持ちになりました。

ある日のことです。おじいさんは、牛乳の入ったグラスを倒して、
洗ったばかりのテーブルクロスを汚してしまいました。

「もう我慢できない!どうして毎日毎日そんなに料理をこぼすの!
テーブルクロスがいくつあっても足りないじゃない!」

イザベラが大きい声で言いました。そして次の日から、おじいさんは家族と別の小さなテーブルで、一人でご飯を食べさせられました。
しかも、おじいさんのテーブルには、テーブルクロスの代わりに
新聞紙が敷かれていました。

その数日後。

「ガシャンッ!」

お皿が割れる、嫌な音がしました。おじいさんが、スープのお皿
を床に落としてしまったのです。イザベラは怒って、また大きい声で
言いました。

「明日からは、割れない食器に変えますから!」

つぎ ひ 次の日から、おじいさんは木の食器を使うことになりました。

かぞく たの はな しよくじ へ や すみ 家族が楽しそうに話しながら食事をする部屋の隅で、おじいさんは
ひとり さび 一人で寂しく、ざらざらした木の食器で食事をしました。孫のトニー
は、そんなおじいさんの様子^{ようす}をじっと見^みていました。

それからしばらくたったある日、夕食前^{ゆうしょくまえ}にトニーが熱心^{ねっしん}に木で
なに 何か^{つく}を作っていました。

「トニー、何を^{なに}してるんだ?」とジェームスが尋ね^{たず}ました。

「お父さんとお母^{かあ}さんのために、食器^{しょくき}を作^{つく}ってるんだよ」とトニー
が答^{こた}えました。

「お父さんとお母^{かあ}さんの食器^{しょくき}?」

「そうだよ。だって、お父さんとお母^{かあ}さんが年^{とし}を取^とって料理^{りょうり}をこぼ
したら、使^{つか}わなきゃならないから。あ、それに新聞紙^{しんぶんし}も必要^{ひつよう}だね」

トニーの言葉^{ことば}に、ジェームスとイザベラは何^{なに}も言^いえませんでした。

ふたり 二人は、自分^{じぶん}たちがどんなにひどいことをしていたか、ようやく
わ 分かりました。その日^ひから、おじいさんはまた家族^{かぞく}と一緒^{いっしょ}に食事^{しょくじ}をす
るようになりました。そして、おじいさんが料理^{りょうり}をこぼしても、誰^{だれ}も
なに 何も言^いわなくなりました。

単語リスト：

息子夫婦（むすこふうふ） Vợ chồng con trai

亡くす（なくす） Mất đi

ため息をつく（ためいきをつく） Thở dài

テーブルクロス Khăn trải bàn

我慢（がまん） Chịu đựng, nhẫn nại

新聞紙（しんぶんし） Giấy báo

食器（しょっき） Bộ đồ ăn

様子（ようす） Tình trạng

こぼす Làm tràn, làm đổ

ようやく Cuối cùng